

# ふるさと 夢とやま

( FURUSATO YUME TOYAMA )



地元の  
新川高校の生徒たちが  
ぶどう農家の救世主!

労働力不足に悩む西布施地域での援農

詳しくは裏表紙へ

## CONTENTS

### ・ふるさとウォッチング

- ・南砺市楮集落  
棚田の保全と関係人口拡大への取り組み
- ・とやま帰農塾 (魚津片貝塾)  
清流片貝川沿いを散策  
“自然の偉大さを感じる”

### ・中山間地域チャレンジ支援事業・農村 RMO 形成推進事業の紹介

- ・黒瀬谷 KIRARI 活性化協議会  
山だけど楽しみあふれる黒瀬谷

### ・魅力たっぷり! とやまの6次産業化

- ・(農) 長沢営農組合  
長沢地区の「美味しい」を  
ご賞味ください

### ・里山工房 FICO

氷見の里山でゆったりとした時間を過ごしませんか

### ・カモ親子の農村日記 ～土地改良施設の紹介～

- ・五位ダム  
氷見地区を潤す

### ・トピックス

- ・放任果樹を地域活性化のきっかけに
- ・令和7年度「週末とやま農村 Life」参加者募集!

### ・第14回

「とやまの農山村写真展」受賞作品紹介

### ・表紙写真の裏側

- ・ぶどう産地の労働力不足に救世主登場!
- ・お知らせ  
・ワクワクとやま応援寄附金 (ふるさと納税) 返礼品「とやま農泊宿泊チケット」のご案内
- ・富山県農山漁村総合サイト「むらまち交流ラボとやま」開設!



# 棚田の保全と関係人口拡大への取組み



▲棚田保全活動事業「赤かぶオーナー（種まき作業）」



## 「陸の孤島の孤島」だった楮集落で

南砺市上平地域の楮集落は、かつては冬季に庄川の対岸に渡る手段が板張りの吊り橋と籠の渡し以外になく、陸の孤島と言われていた五箇山の中でもさらに隔絶された「陸の孤島の孤島」でした。そのためか、他の集落では見られない獅子舞演目など、独特な行事がみられます。現在では、少子高齢化に伴う人口減少などにより、こうした独特な行事等も縮小や運営方法の変更を余儀なくされているほか、地域の農地の荒廃化も進んでいます。こうした課題を解決するため、新たな活動を積極的に取り入れるなどして集落の活性化に意欲的に取り組んでいます。

## 受け継がれてきた伝統行事

楮集落の獅子舞は、毎年、春と秋の例祭で奉納されています。五箇山の他集落の獅子舞と異なる特徴として、独自の「キリマゼ」という演目があるほか、一部の演目において獅子取が獅子の周りを回る方向が通常とは逆の左回りになっています。

平成5年には、楮獅子舞をルーツとする北海道風連町（現在の名寄市）の獅子舞保存会との交流が行われました。

しかし、少子化の影響で獅子取の成り手がなかなか見つからず、今後どのように次世代へ継承していくかが課題です。

また、集落内の聖光寺では、毎年7月13



▲楮獅子舞

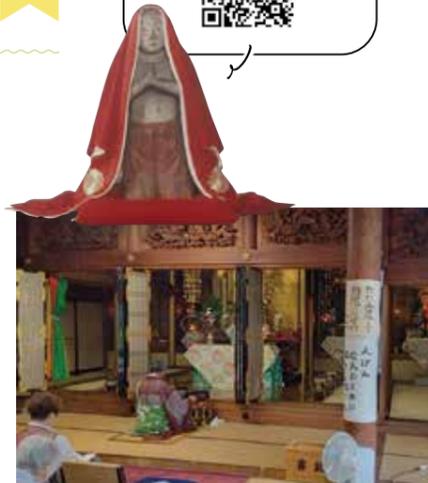
## 風連町との獅子舞交流の様子



動画はこちらから  
<https://youtu.be/diKeedy190Q?t=23>

## 聖光寺の聖徳太子像

【HP 南砺市文化芸術アーカイブスより】



▲「太子伝」聖徳太子縁起の拝読

## 石積み棚田の修復と関係人口拡大への取組み

楮集落には、石積みの棚田が数多く存在しています。

しかし、長い年月が経ち、石垣の崩壊や耕作放棄により、荒廃した棚田が増えてきました。そこで、平成21年に南砺市の「協働のまちづくり事業」を活用し、農地保全活動をスタートさせました。



▲耕作放棄状態の石積み棚田



▲石積み棚田除草活動

## 農村の原風景と今後の展望

昭和30年頃の集落を描いた鉛筆画では、傾斜地に棚田が形成されている様子がわかります。しかし現在は山側の棚田が山林化し、埋もれてしまっているため、伐採や草刈りを進めて景観や災害防止機能の回復を図っていく必要があります。

また、現存する棚田については、外部団体の応援等も受けながら、今後も農地としての有効活用方法を検討していくとともに、関連するイベントの開催により、関係人口の拡大と地域の活性化を目指します。

## 棚田コーリヤク隊との出会い

平成22年度には、筑波大学人間総合科学研究群世界遺産学学位プログラム「棚田コーリヤク隊」が、文化遺産演習の講義の一環として、楮集落で棚田の石積みの補修を手伝うとともに地域文化に触れる活動を実施しました。これが縁となり、筑波大学棚田コーリヤク隊との交流が始まりました。

令和6年9月には、県の「中山間地域保全パートナーシップ推進事業」を活用し、筑波大学と楮集落棚田保全委員会との間でパートナーシップ協定が結ばれました。棚田の再生活動や、地域の芸能・技能の継承などの活動をもに行っていくこととしており、協定の締結をきっかけに、双方の協働活動への意識が高まることで、関係人口の拡大・深化が期待されます。県としては、協働活動が将来的に自走化することを目指して、引き続き活動に必要な資機材を提供するなど、支援を行うことにしています。

※「中山間地域保全パートナーシップ推進事業」については、裏表紙で詳しく紹介しています。



▲棚田コーリヤク隊と地元指導者



▲石積み棚田修復活動



▲パートナーシップ協定締結式

## 棚田活用方法の模索

楮集落棚田保全委員会では、棚田を荒廃させず活用するため、様々な取り組みを行っています。

平成21年に協働のまちづくり事業で実施したライトアップは、現在も毎年行っています。平成27年3月に開通した北陸新幹線の始発乗車の乗客を迎えて開催した雪の棚田ライトアップと音楽会は大盛況となり、それ以降、雪の棚田ライトアップと音楽会は恒例行事として継続開催しています。

また、棚田では、ひまわりの植栽や、五箇山在来のかぼちゃ「五箇山ぼべら」や赤かぶなどの生産を行っています。これらを活用



▲棚田ライトアップ



▲赤かぶオーナー（収穫作業）

した料理を棚田ライトアップイベントで提供し、PRにも取り組んでいます。令和6年度には「みんなで農作業の日実行委員会」の協力により「赤かぶオーナー」を実施しました。

▼棚田ライトアップイベントで提供した料理。「ぼべらプリン」、「赤かぶ菜飯」など



## 五箇山ぼべら

ラグビーボールのような形が特徴的なかぼちゃで、五箇山の伝統野菜です。「ふるさと夢とやま」39号で詳しく紹介しています。

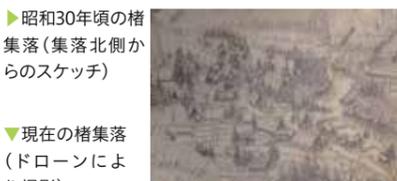
県HP「広報誌「ふるさと夢とやま」バックナンバー」  
(URL: <https://www.pref.toyama.jp/1605/sangyou/nourinsuisan/nougyou/kj00022050/kj00022049.html>)



## 棚田地域への県の支援

県では、「棚田地域水と土保全基金」を活用し、棚田オーナー事業や遊休農地を活用した特産品栽培など、棚田地域の農地等の保全・利活用に関わる事業に対して支援を実施しています。詳しくは富山県農林水産部農村振興課都市農村交流係（TEL：076-4444-3380）までお問い合わせください。

参考文献等：富山県の獅子舞（富山県教育委員会）



▶昭和30年頃の楮集落（集落北側からのスケッチ）



▼現在の楮集落（ドローンにより撮影）

# 清流片貝川沿いを散策

## “自然の偉大さを感じる”

県内の農山漁村で田舎暮らしを体験する「とやま帰農塾」。令和6年5月25日〜26日に魚津市片貝地域で開催された「魚津片貝塾」を紹介します。

「魚津片貝塾」は片貝地域振興会の会長の伊藤さんをはじめとする地区住民の協力で、今回初めて開催されました。参加した塾生たちは、片貝地域のポテンシャルに何を感じたのでしょうか？



▲地区住民による塾生への「洞杉」の説明



1日目は片貝地域の自然環境を学ぶため、片貝川上流の洞杉と蛇石に向かいました。洞杉は南又谷の標高500〜700メートルの急傾斜地に生えている大きな杉で、樹齢は推定500年以上、本数は100本以上、根株が巨石を抱えるようにしているのが特徴です。蛇石（龍石）は川の中にある大きな岩で、蛇のような模様が見られます。いずれも長い時間をかけ形成されたも

### 片貝川沿いの自然遺産、施設巡り （洞杉、蛇石（龍石）、東山円筒分水槽）

ので、塾生たちはこれらを目にし、自然の雄大さに感銘を受けました。

その後、東山円筒分水槽へ移動。この施設は、片貝川から引いた水を3つの農業用水路に分水しており、建設後50年以上が経過した今も農業用水供給に貢献しています。水槽の上から一定のリズムであふれる水に、一同見入っていました。



▲自分で組み立てた椅子を持って記念撮影



▲蛇石（龍石）について解説を受ける塾生



▲東山円筒分水槽

### 参考 東山円筒分水槽

片貝川の水を東山地区の天神野用水・青柳用水・東山用水の3つの用水に公平に分配する施設。「ふるさと夢とやま」45号で詳しく紹介しています。

県HP「広報誌「ふるさと夢とやま」バックナンバー」  
(URL: <https://www.pref.toyama.jp/1605/sangyou/nourinsuisan/nougyou/kj00022050/kj00022049.html>)



### よしなの収穫、調理の下準備

蛇石（龍石）を見た後、東山円筒分水槽へ向かう途中で、夕飯の食材調達のため、よしなの収穫作業を行いました。宿泊場所のシェルピースに戻ってから、調理の下準備を行いました。帰農塾スタッフのお母さん方からやり方を教わり、熱心に作業をしていました。

### 宿泊場所

#### 片貝コミュニティセンター 「毛勝の郷 シェルピース」

平成28年3月に閉校となった片貝小学校をリノベーションした、宿泊室、図工室、多目的研修室、体育館、入浴施設などを備えた施設で、令和3年4月に開所。

片貝地域振興会では、この施設を拠点に、県の「中山間地域チャレンジ支援事業」を活用して作成した、「片貝体験プログラム」により、片貝ならではの自然体験を提供しています。

※「中山間地域チャレンジ支援事業」については6ページ・7ページで詳しく紹介しています。



▲よしなの葉の抜き取り

### 無花粉杉の植樹

2日目は、富山県農林水産総合技術センター森林研究所で開発された無花粉杉「立山森の輝き」の苗木の植え付けを行いました。新川森林組合のスタッフから植え方について説明を受け、作業を開始。慣れない体験に少し戸惑いながらも、上手に作業を行いました。作業前には二ホンカモシカが出現し、写真撮影という一幕もありました。



▲塾生による苗木の植え付け

### 魚津片貝塾を終えて

魚津片貝塾では、観光旅行では体験できない地域の魅力に触れることができ、塾生たちからは、「洞杉に感動した。富山にこんなところがあるとは知らなかった」「学校だったところに宿泊できてよかった」「片貝地域は思ったより広く、ゆったりできた」など、片貝地域への称賛の声が聞かれました。

### ●伊藤塾長より

魚津市水循環遺産巡りをテーマに、今回、初めて開催した魚津片貝塾では、参加者から多くの称賛の声をいただき、大変、有意義であったと感じています。令和7年度は、魚津漁業協同組合と連携を図り、「魚」をテーマに開催します。毛勝の郷シェルピースに宿泊していただき、交流人口を増やしていきたいと考えており、皆様のご参加お待ちしております。

### 地域交流会



1日目の夜は、当日収穫したよしなをはじめ、地元食材を使った料理をいただきながら、地元関係者と塾生による交流会が行われました。

魚津市の元地域おこし協力隊で、近隣の西布施地区で就農した湯沢さんにもご参加いただき、移住のきっかけや現在の状況についてお話を伺いました。現在はサツマイモ栽培に専念しており、農業を頑張っていくとの言葉に、皆さん感心していました。



▲地元食材の料理

### ▼県産材を使った椅子づくり



植樹の後は、シェルピースの図工室で椅子づくり。引き続き、新川森林組合のスタッフの説明を受け、木材のカット、組立て作業を実施。悪戦苦闘しながらも何とか完成させることができた椅子は記念に持ち帰ることもでき、皆さん満足げな表情をしていました。

### 木工による椅子づくり

### お知らせ

令和7年度から、「とやま帰農塾」は新たに「週末とやま農村Life」として生まれ変わります。「魚津片貝塾」も「魚津片貝ラボ」として実施予定です。詳細は14ページをご覧ください。

### 問い合わせ・ 「片貝体験プログラム」 申し込み先

片貝地域振興会  
(魚津市片貝コミュニティセンター「毛勝の郷 シェルピース」)  
住所 富山県魚津市島房818番地  
TEL 0765-32-8203  
E-mail k-korare@nice-tv.jp

HP  
URL: <http://www.nice-tv.jp/~k-korare/>

Instagram  
URL: [https://www.instagram.com/katakai\\_community\\_center/](https://www.instagram.com/katakai_community_center/)



# 山だけど楽しみあふれる 黒瀬谷

富山市八尾町の東部に位置する黒瀬谷地区では、豊富な水資源を活用した農業を展開し、農業を核とした活発な集落活動が行われてきました。しかし近年、少子高齢化や人口減少、農業の担い手不足による荒廃農地の増加などが懸念されることから、誰もが安心して暮らせる魅力ある地区を目指した取組みを進めています。



## 「中山間地域チャレンジ支援事業」の取組み(令和2年度～令和4年度)

平成30年度に、地域の将来像と課題解決に向けた「黒瀬谷地区活性化アクションプラン」を策定し、翌年には「黒瀬谷地区活性化プラン推進委員会」を設置しました。そして令和2年度から3年間、県の「中山間地域チャレンジ支援事業」を活用し、地区住民が主体となった特色ある地域づくりとコミュニティビジネスの創出を目指しました。



▼甘くておいしいと好評のトウモロコシ収穫体験



▲「野菜こられ市」での農産加工品販売 ▲サツマイモ収穫体験



▲八村選手に贈る「富富富」の稲刈り体験

### ○八村塁応援選米プロジェクト(令和4年度まで)

富山市出身のNBA八村塁選手の祖母が黒瀬谷地区に在住していたことから、地域ぐるみで活躍を応援！  
地元の小学生を対象に新品種「富富富」の田植えや稲刈り体験を実施し、収穫した米を八村選手に贈りました。

### ○関係人口の創出

地区を応援するサポーターグループ「黒瀬谷きらり倶楽部」を結成。地区のイベントの企画や参加、地区の情報発信などを行っています。

◀きらり倶楽部企画の「大人の運動会」

### ○農業の活性化

シャクヤクの摘み取り体験のほか、富山市内の企業と連携して、アロマオイル用の赤ジソ等を栽培しています。



▲赤ジソの栽培



▲シャクヤクの摘み取り体験

## 誰もが安心して暮らすことができる里づくり

買い物等に不安を感じている高齢者の交通手段とするため、地区住民で運転手を募り、無償の福祉ワゴンの試験的運行を実施しています。利用者数や行き先、経費などを調査し、運行計画のブラッシュアップなど、将来的な運行を検討しています。



▲福祉ワゴンの運行

## 黒瀬谷地区の将来のために

黒瀬谷KIRARI活性化協議会では、地区の抱える課題を、迅速かつ効率的に解決できるよう、地域で支えあうむらづくりを進める取組みを展開しています。若い世代をどのように巻き込むのか、人口減少と高齢化に歯止めをかけ、次世代の定住・移住を進めるには何ができるか。宮田会長は、誰もが安心して暮らせる魅力ある地域づくりを住民のみんなと知恵を出し合って進めていきたいと熱く抱負を語られました。

## 地域協議会の設立

令和4年度に地区内唯一の保育所が休所し、令和5年度末に地区内の椋尾小学校が閉校したほか、コロナ禍の影響なども受け、地域の活気に陰りが出てきました。こうした状況を打破するため、国の「農村RMO形成推進事業」を活用し、令和5年度に従来の「黒瀬谷地区活性化プラン推進委員会」を再編・強化する形で「黒瀬谷KIRARI活性化協議会」を設立しました。初年度となる令和5年度には、住民アンケートや先進地視察を実施するとともに、ワークショップや協議会全体会議で地域の課題を整理し、地域の目指す姿である「黒瀬谷地区将来ビジョン」の策定及び実証事業の具体化・合意形成を実施しました。



▲各グループによる発表 ▲地元天気図ワークショップ

## 農用地の保全

スマート農業の定着と農作業の省力化に加え、体験農園等の交流を企画し、高齢者が活躍できる場づくりや、将来の農業担い手候補の育成に取り組んでいます。



▲エダマメの親子収穫体験



▲リモコン草刈り機の実証

## 「野菜こられ市」の開催

毎年4～12月に開催している「野菜こられ市」には、地域の農作物や農産加工品を求めて多くの人々が訪れます。12月初旬には「新そば祭り」が開催され、行列ができるほどの盛況ぶりです。黒瀬谷産のマスカットワインも販売されています。

令和6年度には「軒下カフェ」を試行的に実施し、地域協議会で企画したスイーツづくり教室で開発中のケーキの試食等が行われました。



▲豊富な品ぞろえの地域の農作物

## 子どもが集う拠点づくり

カプトムシ・クワガタの繁殖場所となる「カプトムシ・クワガタの里」や「ピオトール」を設置し、子どもや親子が集う地域コミュニティの拠点化を目指しています。今後はイベント等を開催し、取組みの更なる充実を目指していきます。



▲ピオトールづくり



▲繁殖場所を設置

## 用語メモ

- 中山間地域  
山間地やその周りの地域、その他地理的条件が悪く、農業をするのに不利な地域。富山県では、「富山県中山間地域における持続可能な地域社会の形成に関する条例」で「中山間地域」を定義するとともに、「中山間地域チャレンジ支援事業」などによって支援しています。
- 中山間地域チャレンジ支援事業  
中山間地域の活性化に向けて企業、団体、集落等が取り組もうとする活動の試行に対して、県が補助金を交付する事業。
- 農村型地域運営組織  
(農村RMO:Region Management Organization)  
複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域のコミュニティの維持に資する取組みを行う組織。
- 農村RMO形成推進事業  
農村RMOの形成を推進するため、地域の話し合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る将来ビジョンの策定、ビジョンに基づく調査、計画作成、実証事業等の取組み、デジタル技術の導入・定着を推進する取組みのほか、協議会の伴走者となる組織の育成等の取組みを国が支援する事業。

## 問い合わせ先

黒瀬谷KIRARI活性化協議会  
(黒瀬谷交流センター喜楽里館内)  
〒939-2321 富山市八尾町小長谷352  
TEL 076-455-1074

「中山間地域チャレンジ支援事業」について  
富山県地方創生局ワンチームとやま推進室  
中山間地域支援・移住促進課中山間地域支援担当  
TEL 076-444-9607

「農村RMO形成推進事業」について  
富山県農林水産部農村振興課中山間農業振興係  
TEL 076-444-9011

各農林振興センター企画振興課  
新川農林振興センター TEL 0765-22-9136  
富山農林振興センター TEL 076-444-4475  
高岡農林振興センター TEL 0766-26-8448  
砺波農林振興センター TEL 0763-32-8130



「黒瀬谷きらりネット」はこちらから



▲研修を受ける地元高校生

魅力たっぷり!

# とやまの6次産業化

## 「6次産業化」とは?



農林漁業に従事する人が、生産（1次産業）から製造・加工（2次産業）、販売などのサービス（3次産業）までを行うことによって、生産物の価値を高め、所得の向上などを目指す取り組みです。

長沢地区の「美味しい」を  
ご賞味ください

## (農)長沢営農組合

長沢営農組合は、富山市長沢地区で農業を営む組合員37人で構成されています。減化学肥料減農薬で作ったこだわりの米と、化学肥料を一切使用せず、農薬も必要最低限で作った桃等を販売しています。令和4年頃から販売担当の井上さんが発起人となり、米と桃を加工品として販売できるとしたら何か、どうしたら商品化できるかを探り、組合内の調整を経て、県の「6次産業化とやまの魅力発信事業」を活用し、新商品開発に取り組みました。

主な6次化商品はこちら!



### Kome no Donut

『ねいの土とねいの米』の米粉で作ったグルテンフリーの焼ドーナツ。もっちり感の中に優しい味わい。プレーン、玄米、黒糖、メープル、ココアの5種類。



### 桃ジャム

化学肥料を一切使わず栽培したこだわりの桃で作ったジャム。添加物不使用です。



### Sora to Momo

桃のジュース。果肉感たっぷりです。トロリとした、まさに飲む桃。



### のし餅

組合自慢の米『ねいの土とねいの米』で作ったのし餅。昆布、白、豆の3種類。

このほか、桃のリキュール「夜空ともも」も販売しています。

interview

## 教えて! 井上さん



### 6次産業化に取り組んだ理由は?

米や桃を販売し、お客様から「美味しい」と言ってもらう中で、加工品としても提供できないかと思いはじめました。現在の商品は、私自身が食べた・飲みたいと思うものを商品化しました。



### 周りの反応はどうでしたか?

組合員の多くは会社勤めをしており忙しく、加工に関与する余裕がなかったため、当初は積極的な協力を得られませんでした。販売を始めた頃から、組合員の奥さんが協力を申し出てくださり、今では一緒に考えながら進めています。

### 6次産業化を進める中で、大変なことはありましたか?

組合には加工場がないため、加工の委



▲組合員

### 今後の展望はありますか?

この取組みを長く続けていくことが目標です。次の担い手に引き継いでもらえる基盤作りをしていきたいです。

●6次産業化とやまの魅力発信事業  
農林漁業者が6次産業化に係る新商品・サービスの開発を行う際に必要な加工用機械の整備等へ県が支援する事業。令和6年度からは、「6次産業化チャレンジ支援事業」として実施しています。

### 取り組んでよかったことはありますか?

美味しい商品を生み出したことです。こだわりを持って作った米や桃が、別の形になって手に取ってもらえ、さらに美味しいと好評をいただいていることを嬉しく思います。また、加工品の販売を通して客層が拡大し、広く長沢営農組合を知ってもらえるようになったほか、男性中心だった組合員同士の繋がりの中に、組合員の奥さん同士の繋がりが生まれました。

interview

## 教えて! 廣田さん



### 「里山工房FICO」を始めたきっかけは?

元々お菓子作りが趣味だったことと地元の素材を使った加工を始めたと思ったのがきっかけです。メインである無花果は、地域の耕作放棄地を活用し、栽培を始めました。店名の「FICO」は、イタリア語で無花果という意味です。

### おすすめのメニューは何でしょうか?

さつまいもチーズケーキや米粉シフォンケーキ、無花果ジャム・コンポートです。甘すぎない優しい味が好評で、リピーターのお客様が増えていきます。また、米粉を使用しているため、グルテンフリーの健康志向の方にも好まれています。



### 取り組んでよかったことはありますか?

様々な人とのつながりが広がったと感じています。地域の方々と繋がりが地元の素材を仕入れることができ、地域と繋がりがより深まっていると感じます。また、大変嬉しいことに、お客様の口コミで「里山工房FICO」が広がり、市内に留まらず、市外や県外からもお客様がお客様になり、その後何回も足を運んでくださるお客様が多くなりました。

### 最後に一言、お願いします。

「里山工房FICO」で里山の風景と里山から生まれたお菓子とともにゆったりとした時間を過ごしませんか。ぜひお越しください。

実感していることから、地域の方々同士が交流できる場所がほしいという思いや、能登半島地震の復興の思いもあり、イトインスペースを設けました。「ほ」とする。「懐かしさがある」等の声をいただいています。



▲内観・イトインスペース

### これからの取組みについてお聞かせください。

現在、無花果を120本栽培しており、あと50本増やしたいと思っています。また、これからも地元の素材を使ったお菓子で地域に貢献し、地域の方々にお菓子を訪れていただける、あたたかいお店を目指したいと思っています。

### 農村女性起業支援事業

農村女性が行う新商品開発や業務拡大に対し県が支援する事業。

### 農村女性起業拡大支援事業

農村女性が行う直売・加工施設の整備等に対し県が支援する事業。令和6年度からは、県内の農林漁業者の6次産業化の取り組みを支援する「6次産業化チャレンジ支援事業女性モデル事業」として実施しています。

### 「農村女性起業チャレンジ事業」

「6次産業化チャレンジ支援事業」については、富山県農林水産部農村振興課農村活性化係（TEL:076-444-3381）までお問い合わせください。

## 里山工房FICO



所在地 氷見市早借1006  
代表 廣田秀美  
TEL 0766-76-2713  
HP https://satoyama-fico.com/  
Instagram @satoyama\_fico  
営業時間 10:30~17:00  
(冬季期間11~2月は10:30~16:30)  
定休日 月・火・水曜日、お盆、年末年始  
駐車場 早借公民館をご利用ください  
その他 テイクアウト専門店。



HP イトインスペース有。

## 農事組合法人長沢営農組合

所在地 富山市婦中町長沢 4577  
代表 代表理事(組合長): 丹波満朗  
6次担当 販売促進担当: 井上留美  
TEL 050-8886-0535  
HP https://nagasawa-agri.jp/  
Instagram @nagasawa.toyama  
販売場所 JA あおば「ほほえみ館」、  
営農組合直売所、各種イベントほか  
その他 営農組合直売所・イベントでの販売は不定期のため、最新情報はInstagramをご覧ください。



HP



Instagram

## 氷見の里山でゆったりとした時間を過ごしませんか FICO 里山工房FICO

令和2年10月に氷見市の里山で古民家を改修してオープンしたお菓子店です。自家農園で栽培した無花果(いちじく)や地域の特産品「さつまいも」などの地元素材にこだわったお菓子を販売。新商品開発や施設の整備には、県の「農村女性起業チャレンジ事業」「農村女性起業拡大支援事業」を活用しました。

おすすめのメニュー

### さつまいもチーズケーキ

地元でさつまいもの栽培や加工品の販売に取り組むNPO法人速川活性化協議会の紅はるか・シルクスイートのさつまいもペーストを使用。チーズケーキの土台となるクッキーは、当店の米粉クッキーを使用。



### 米粉シフォンケーキ(練り込み)

地元産ミルクイーンの米粉を使用。しっとりもちもちとした食感が特徴。



### 米粉シフォンケーキ(サンド)

シフォンケーキに季節の果物をサンド。地元産のさつまいもや無花果、りんご、メロン等、季節によって年中様々なメニューを楽しむことができます。



### 無花果ジャム・コンポート

ジャムは自家農園で収穫した無花果と甜菜糖を使用した優しい甘さが特徴。コンポートは、無花果を赤ワインで4日間じっくり煮詰める。



# 氷見地区を潤す五位ダム



## 氷見地域への導水のきっかけ

かつて、氷見地域の主な水源は、低平地を流れる仏生寺川、上庄川などの小河川であり、いずれも流量が少ないことから、農業用水の不足が深刻でした。その不足を補うため、25000〜30000箇所ともいわれる多くのため池から給水するとともに、水の反復利用や還元水利用も行っており、多大な労力と費用を要していました。そのため、ひとたび日照りが続くと深刻な干ばつ被害が生じる地域でした。

五位ダムは国が造成したダムですが、国営事業着手のきっかけとなったのが昭和42年の干ばつで、その年の5月11日から6月24日まで連続45日の干天が続き、883箇所のため池が枯渇し、大小682基のポンプを稼働させて導水したという記録が残っています。



五位ダムは、富山県西部を流れる一級河川子撫川の支流に位置します。子撫川の水を貯留し、氷見市および高岡市の一部の農地約3000ヘクタールに農業用水を供給しています。

ため池からの水汲み



ため池からの水汲みには、大変な労力がかかっていたんだ。

## 水不足を解消するために

氷見地域における水不足に対応するため、「国営総合かんがい排水事業氷見地区」として昭和46年から昭和48年にかけて調査計画が実施され、翌年の昭和49年から昭和51年までの3か年で全体実施設計を行い、昭和52年4月に事業着工に至りました。

事業の内容は氷見地域のかんがい対策を総合的に実施するため、トンネル、サイホン、管水路などの水路整備が35・2キロメートル、頭首工1箇所、十二町湯



子撫川から氷見市の農地に水を送れるようになったんだね。



有効貯水量は810万立方メートル。東京ドーム約6.5杯分の水を貯められるんだね。

## 五位ダムの建設

五位ダムは、ダムの中心部に遮水性の高いゾーンを設け、土砂や岩石などの充填材を盛土して築かれた「中心遮水ゾーン型フィルダム」という形式のダムです。

排水機場の整備も実施しましたが、最も重要な水源の確保の手段として、五位ダムの建設を柱としました。

五位ダムの水源は、氷見市内の水系では十分な水量が確保できないことから、隣接する高岡市(旧福岡町)に流れる子撫川の上流に建設する計画としました。しかし、もともと旧福岡町を流下して小矢部川に流れていた農業用水の一部を新たに氷見地域に送水することから、下流域の住民の方々に不利益が生じないよう、国、県、市町の担当職員のみならず、首長自ら住民説明に何度も足を運び、丁寧な説明を重ねて建設地ならびに下流域の同意を得た経緯があります。

盛り立てる材料にはダム周辺の土砂を活用していますが、ダムとして必要な材料の性能を満たすために材料の混合方法や締め固めの方法、材料に含まれる水分量の管理など細心の管理のもと所定の性能を保持するよう管理されています。

氷見地域に効率的に送水するためのダム位置の選定は、限られた条件の中でせざるを得ないことから、五位ダムは泥岩、砂岩が交互に重なった地盤のうえに泥岩を盛り立てるもので、非常に品質管理が難しいダムでした。

そこで、学識経験者による委員会を組織し、調査試験計画の樹立、施工方針の検討ならびに施工中の各種問題の解決に努めるために計19回委員会を開催し、各分野の学識経験者から適切な指示・助言を受けて完成に至りました。

## 時代の変化とともに求められる新たな役割

近年、豪雨災害の増加を受けて、全国のダムで洪水調節機能強化の取組みが進められています。五位ダムは、かんがい用水として使用して空いた容量の部分で洪水を一時的に貯留することにより、下流域への洪水発生を抑制する取組みを国の指導の下で実施しています。

また、脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの活用が推進される中、小水力発電を行う土地改良施設が増えてきています。五位ダムでは、令和3年度、氷見市土地改良区が事業者となり、ダムから子撫川へ放流される水を利用した小水力発電を開始しました。発電した電気を売電した

五位ダム発電所の発電機



発電量は年間約72万キロワットアワー！一般家庭なら、約240世帯分の一年間の消費電力をまかなえるんだよ！

収益は、氷見市土地改良区管内の土地改良施設の維持管理費などに充てられ、農家の皆さんの負担軽減にも役立っています。

## カモ親子の用語メモ

- 土地改良施設：農業用排水施設や農業用道路、そのほか農用地の保全や利用をする上で必要な施設。
- 反復利用：上流の田畑からの排水をせき止め、ポンプなどで汲み上げて再度利用すること。
- 還元水利用：河川や地下水に還元された用水を、ポンプなどで汲み上げて再度利用すること。
- 頭首工：河川などから用水路へ必要な水を引き入れるための施設。
- 排水機場：ポンプを利用して強制的に排水を行う施設。
- 有効貯水量：ダムの総容量から堆積する土砂の容量を差し引いた、実際に貯められる水量のこと。
- 小水力発電：一般的に出力10000キロワット未満の小水力発電のこと。

# 放任果樹を 地域活性化の

## きっかけに



中山間地域では、高齢化で柿を収穫できない、また、人口減少で自家消費しきれないなどの理由により、柿の木を放置せざるを得なくなってきており、クマやサルが餌を求めて出没することがあります。

そこで、県では、令和6年度「チャレンジコンテスト<sup>※1</sup>」として、放置された柿を活用した柿の摘取りや串柿づくりの体験会を開催し、鳥獣害対策と地域活性化につながる取組みを実施しました。

※1 チャレンジコンテスト…職員の政策立案能力を向上させることを目的に、県の課題解決策を職員から募集し、選ばれた提案を実際に事業化するものです。

### イベントの概要

体験会は、令和6年10月26日(土)に15名の方にご参加いただき、富山市山田谷地域で開催しました。開催にあたっては、会場となる山田谷地域の方々のほか、昼食の準備についてNPO法人山田の案山子にご協力いただきました。

イベント内容は、1摘み取り体験、2昼食、3串柿づくり体験の3つです。食用の平核無柿<sup>※2</sup>は持ち帰り放題とし、飾り用串柿は山田谷地域で乾燥後、県から参加者へ送付する形式をとりました。

※2 平核無柿…平たい形と種無しであることが特徴の渋柿の品種です。



富山市  
山田谷地域



▲山田谷地域伝統の「串柿づくり」

## 1 摘取り体験

地域の方から作業や道具の使い方の説明を受けたあと、食用の平核無柿を取るグループと飾り用のハンコ柿<sup>※3</sup>を取るグループの2グループに分かれ、作業を行いました。高枝切ばさみのほか、昔ながらの「はさんばこ<sup>※4</sup>」という摘取り道具を用いて作業を行いました。地域の方には、木に登って籠を吊るし、はさんばこを使って高い場所の柿をとる昔ながらの方法を実践していただきました。昔の暮らし、畑の中に残る野生動物の痕跡や植物など、たくさんのごとを教えてくださいながら、楽しく作業を進めました。

※3 ハンコ柿：山田谷地域で昔から串柿用に植栽されている渋柿の品種です。  
※4 はさんばこ：竹の先を削って、針金などで固定した道具。竹の割れた先の部分に柿の枝をはさみ、ひねることで柿を摘み取る。他の地域では「はさんばり」とも言います。



クマの爪痕



▲木の上に登る地域の方

▲はさんばこを用いた摘取り作業

▼昼食をとりながら歓談



▲地元食材を使った昼食

## 2 昼食

摘取り体験の後には、昼食をとりました。メニューはおにぎりや熊汁です。使用した食材はほとんどが山田谷地域産で、お米や野菜のほか、熊肉も地元の猟師さんが同地域で捕獲したものでした。食事を通して、地域の魅力を存分に味わい、参加者の方と地域の方との間で交流を深める時間になりました。山田谷地域のお米を調べる場所のPRもあり、後日、実際に購入しに來られたそうです。

## 3 串柿づくり体験

食事の後は、摘み取った柿を使用した串柿づくり体験を行いました。



▲昔ながらの皮むき器

▲お手本を見ながらみんなで串に刺す作業

皮むきをした後に、串に刺し、ひもで結んでいきました。皮むきでは、ピーラーのほかに、昔ながらの皮むき器も使用させていただきました。串に刺す作業では、地域の方にお手本を披露していただき、それに倣って作業しました。自分の作った数本の串をひもで一つにまとめ、名札をつけました。食用の干し柿は、時間の都合により、作業方法を地域の方に説明していただき、自由に持ち帰り自宅で作業していただく形式としました。参加者の皆さんは袋一杯に柿を詰めて持ち帰られました。

体験会終了後も、体験を振り返り地域を思い出していただききっかけとなるよう、



▲串をひもでまとめて乾燥の準備



▲乾燥中の串柿

串柿が参加者の皆さんへ送付されるまでの間、乾燥過程の写真配信を行い、12月上旬には参加者の皆さんの手元へ串柿を送り届けました。

### 参加者の声

参加者の皆さんからは、「至れり尽くせりでも楽しかった」「今回のような昔ながらの物づくり体験型のイベントは良いなと思った」「人数がちやうどよく、一人でも気兼ねなく申し込み出来た」などのご感想をいただきました。概ねご満足いただけたと感じました。一方で、山間地で実施したこともあり、トイレの不便に関するご意見や、「もっと地域の方と地域の課題や放任果樹の活用について話し合う時間があればよかった」というご意見をいただきました。



### おわりに

あなたの地域にも、放置されている地域資源があるかもしれませぬ。今は価値のないものや厄介者と思っけていても、うまく活用することで地域にいい効果をもたらす可能性を秘めています。今回の取組みが、厄介者などと思われような地域資源を、視点を変えて発掘し、活かしていく、そんな地域づくりのアイデアの一つになれば幸いです。



▲作業を終え、満面の笑みを浮かべる参加者

# 週末とやま 農村Life

富山県の農村地域には、受け継いでいきたい魅力的な地域資源が多く存在しています。農業、農村暮らし、伝統文化の体験を通じて魅力ある地域資源を感じ、地域と交流する「週末とやま農村Life」を新たに開催します。週末に富山の魅力を満喫してみませんか？

令和7年度から、「とやま帰農塾」は新たに「週末とやま農村Life」として生まれ変わります！

**2泊3日**  
**やまだ村ラボ**  
令和7年 11/7(金)~11/9(日)  
そば打ち体験、干柿作り体験、牛岳散策

富山まる見え！高原の里山やまだ村の風情と地元住民の人情に触れる

**1泊2日**  
**笹川ラボ**  
令和7年 6/21(土)~6/22(日)  
ヒスイ探し、ホタル観察会、薬草採り体験

ホタルが飛び交う清らかな自然里山だけと海も近い朝日の魅力を堪能

**1泊2日**  
**灘浦ラボ**  
令和7年 5/24(土)~5/25(日)  
朝獲れ鮮魚さばぎ体験、伝統工芸わら細工づくり体験

海山、畑で水見の魅力を感じ一度覚えれば一生もの「魚さばぎ体験」

**1泊2日**  
**国吉ラボ**  
令和7年 10/25(土)~10/26(日)  
酪農家で餌やり・搾乳体験、国吉りんご収穫、ランプシェード作り

酪農、竹林、リンゴの収穫里山の暮らしは奥が深い！

**2泊3日**  
**南砺ラボ**  
令和7年 6/6(金)~6/8(日)  
狩女に狩猟を学ぶ、特産里芋の植え付け体験

散居村と里山の田舎暮らしを体験昔ながらの手作業による糸作りを体験

**1泊2日**  
**利賀村ラボ**  
令和8年 2/21(土)~2/22(日)  
わら細工づくり体験、野菜の雪中収穫体験、伝統食づくり体験、そば打ち体験

利賀の暮らし体験山里の生活体験がヒトを育む

**2泊3日**  
**立山ラボ**  
令和7年 10/17(金)~10/19(日)  
越中瀬戸焼作家による陶芸体験、落差日本一称名滝見学

雄大な立山の麓自然の中から生まれるアートと信仰に触れる

**1泊2日**  
**魚津片貝ラボ**  
令和7年 9/20(土)~9/21(日)  
水循環遺産巡り、魚釣り・鮮魚さばぎ体験

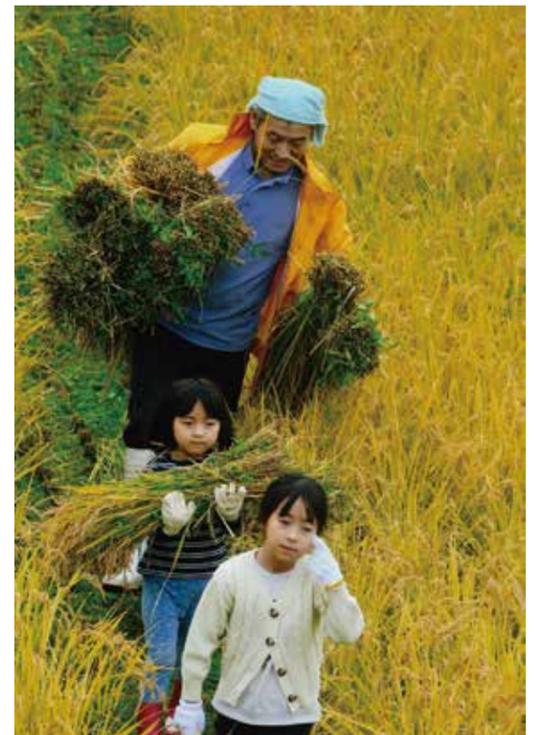
水循環を感じられるうおっ！なまち 懐かしい空間に癒され、自然を満喫！



## 第14回 「とやまの農山村写真展」 受賞作品紹介

「とやまの農山村写真展」は、富山県の豊かな農山村風景を後世に守り伝えることを目的に開催。作品を応募される方はもちろん写真展をご覧いただく方々にとっても農山村の魅力が再発見する良いきっかけとなっています。今回は203点（一般98作品、ジュニア105作品）の応募があり、その中から富山県知事賞（最優秀賞、優秀賞）、富山県土地改良事業団体連合会長賞（棚田賞）及びとやま棚田ネットワーク会長賞（特別賞）を選定・表彰しましたので紹介します。（敬称略）

最優秀賞  
一般部門 「お手伝い」 杉山 邦雄（高岡市）



ジュニア部門 「田祭り」 土井 柊吾（上市町）



優秀賞  
ジュニア部門 「自然と文化の結晶」 高木 一颯（射水市）



ジュニア部門 「自然と文化の結晶」 高木 一颯（射水市）



ジュニア部門 「チューリップと立山」 大門 一翔（滑川市）



一般部門 「牧草ロールのある風景」 藤牧 隆夫（富山市）

受賞作品は「とやま棚田ネットワーク」のホームページ（URL: <https://www.tym-midori.net/tanada/tanada.htm>）でご覧いただけます。  
「とやま棚田ネットワーク」ホームページはこちらから



- |              |              |          |
|--------------|--------------|----------|
| 岩井 清 戸野 善金 岩 | 黒田 北島 谷浦 東 南 | 白又 戸田 戸田 |
| 水田 島 崎 山 部   | 田 島 崎 山 部    | 又 田 田    |
| 井 田 島 崎 山 部  | 田 島 崎 山 部    | 又 田 田    |
| 井 田 島 崎 山 部  | 田 島 崎 山 部    | 又 田 田    |
| 井 田 島 崎 山 部  | 田 島 崎 山 部    | 又 田 田    |
| 井 田 島 崎 山 部  | 田 島 崎 山 部    | 又 田 田    |
| 井 田 島 崎 山 部  | 田 島 崎 山 部    | 又 田 田    |
| 井 田 島 崎 山 部  | 田 島 崎 山 部    | 又 田 田    |
| 井 田 島 崎 山 部  | 田 島 崎 山 部    | 又 田 田    |
| 井 田 島 崎 山 部  | 田 島 崎 山 部    | 又 田 田    |

ご家族・ご友人同士で、お問い合わせの上ご参加ください

参加費	一般	小学生以下
2泊3日	25,000円	12,500円
1泊2日	18,000円	9,000円

お問い合わせ  
令和7年度の各ラボのスケジュールは、NPO法人グリーンツーリズムとやまホームページをご覧ください。  
■ NPO法人グリーンツーリズムとやま ■ 富山県農村振興課 中山間農業振興係  
TEL 076-482-3161 TEL 076-444-9011  
FAX 076-482-3635 FAX 076-444-4427  
E-mail info@gt-toyama.net  
お申し込みはこちらから





▲ 中山間地域パートナーシップ協定締結式



▲ 種なしぶどうを作るための作業



「中山間地域保全パートナーシップ推進事業」についてもっと知りたい方はこちらから（県 HP）

## ぶどう産地の労働力不足に救世主登場！

今号の表紙は、令和6年7月に、魚津市小川寺西布施ぶどう組合のぶどう園にて、学校法人荒井学園新川高等学校(以下、新川高校)の生徒たちがぶどうの袋かけ作業を手伝っている様子です。今回の作業は県の「中山間地域保全パートナーシップ推進事業」の一環として行われたものです。県は各農林振興センターに「パートナーシップ推進デスク」を設置し、農業者の減少や高齢化による労働力不足が課題となっている中山間地域等と、その地域活性化に協力して下さる団体とのマッチングを支援しています。

西布施ぶどうは、魚津市南東部、県内最大のぶどう産地である西布施地域で約65年にわたって栽培されてきました。しかし近年は、農業者の高齢化や後継者不足などにより、ぶどう栽培を継続することが厳しいとの声が聞かれるようになったため、県の事業を活用し、令和5年から新川高校の生徒たちによる西布施ぶどう組合での作業協力(鳥獣被害を防ぐための柵設置やぶどうの袋かけ等)を始めました。生徒たちに農作業を手伝ってもらう以外に農業に興味を持ってもらうため、ぶどうの試食や地元ワイナリーの見学も行っています。

この活動の継続や更なる発展に向け、令和6年10月3日には両者による中山間地域パートナーシップ協定の締結式が行われました。今後は、ぶどう園から発生する未利用物(廃棄するぶどうや剪定後の枝)を活用して、新川高校の生徒が商品開発に取り組んでいく予定となっています。今後の新川高校の活躍に期待が高まりますね！

## お知らせ

### ワクワクとやま応援寄附金（ふるさと納税）返礼品「とやま農泊宿泊チケット」のご案内

富山県農泊推進ネットワーク会議では、富山県のふるさと納税「ワクワクとやま応援寄附金」の返礼品として、富山県で農泊を実施している地域で利用できる「とやま農泊宿泊チケット」をご用意しました。1万円の寄附につき、3,000円分の宿泊チケットが発行され、県内農泊地域の対象施設(※)における宿泊にご利用いただけます。県外在住のお知り合いに、ぜひ富山県へのふるさと納税と、「とやま農泊宿泊チケット」で「とやま農泊」への参加をオススメしてください！



(※) 対象施設は順次増加予定です。現在の対象施設は下記 QR コード (URL: <https://gt-toyama.net/vacance/>) からご確認ください。



ご寄附はこちらから (さとふるホームページ)



URL: [https://www.satofull.jp/products/detail.php?product\\_id=1588134&query\\_id=f97e3e1a-7ba6-4bbf-b8a8-236687716f16](https://www.satofull.jp/products/detail.php?product_id=1588134&query_id=f97e3e1a-7ba6-4bbf-b8a8-236687716f16)

### 富山県農山漁村総合サイト「むらまち交流ラボとやま」開設！



※画像はイメージです。

県内の農山漁村地域の情報を集約した富山県農山漁村総合サイト「むらまち交流ラボとやま」を開設しました。地域の情報を「イベント・体験」「食べる・買う」「泊まる」に分類して掲載するほか、県の事業の情報や、農山漁村地域に関連したコンテンツの特集ページなど、情報が盛り沢山です。ぜひご覧ください！



「むらまち交流ラボとやま」 (URL: <https://www.info-toyama.com/muramachi-lab/>) はこちらから

「むらまち交流ラボとやま」公式 LINE アカウントはこちらから



情報の掲載を希望される方は、以下の申請フォームからお申し込みください。(URL: <https://www.info-toyama.com/muramachi-lab/features/business>)



「ふるさと夢とやま」46号 令和7年3月

発行元

富山県農林水産部農村振興課  
〒930-0004

富山市桜橋通り5番13号 富山興銀ビル4階

TEL 076-444-3380 FAX 076-444-4427

ご意見・ご要望をお寄せください

本誌に関するご意見、ご要望等をお寄せください。住所、氏名のご記入をお忘れなく。個人情報については、ご意見・ご要望の内容確認以外に使用いたしません。



本号とバックナンバーは富山県ホームページ (URL: <https://www.pref.toyama.jp/1605/sangyou/nourinsuisan/nougyou/kj00022050/kj00022049.html>) でもご覧になれます。 バックナンバーはこちらから↓

ふるさと夢とやま

検索



この冊子は、富山県農村環境創造基金で発行されています。